

### 3. そのほかのデータ

#### ①人口減少・少子化（厚生労働省、人口動態統計より）

2021年の日本人の出生数は81万人余（過去最少）。合計特殊出生率は1.30で、6年連続減少。その一方で、死亡数は戦後最多の約144万人余で、年間のネット人口減は約63万人余。

#### ②増大する未婚率（「少子化社会対策白書」2021年7月より）

50歳までに一度も結婚していない生涯未婚率は、男性25.7%、女性16.4%

#### ③労働生産性、国際競争力

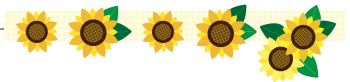
日本人の一人当たりの労働生産性（20年）は、OECD加盟国38カ国中28位（ちなみに米3位、仏8位、独15位、英19位、韓24位）。また、スイスの国際経営開発研究所の「国際競争力ランキング」（22年）では、日本は34位（ちなみにシンガポール3位、台湾7位、米10位、独15位、英23位、韓27位、仏28位）。

#### ④世界の民主的国家・地域と非民主的国家・地域の割合

スウェーデンの研究機関の調査によると、公正な選挙、基本的人権、報道の自由などの観点から、世界の国や地域を対象に民主主義の度合を分析した結果、自由で民主的とされたのは60の国と地域、非民主的とされたのは100を越えた。



### 当会インターン生のOB会開催



損保環境財団（当時）が始めたCSOラーニング制度を活用して、当会では2003年から2022年までの19年間で28名のインターン生を受け入れてきました。「先輩方の話を聞きたい」という昨年度インターン生の発言をきっかけに、“近況も聞きたいし、今後の活躍にも期待したい”という思いもあり、早速、メールで連絡が取れる方10名ほどに呼び掛けたところ、8名の参加があり、約2時間にわたり仕事のこと、私生活のことなど様々な話題で盛り上がりました。

大手住宅メーカーに勤めるOさんは、「脱炭素に向けかなり忙しいが、収益との関係でバランスをとるのが難しい」という話、再生可能エネルギーの会社に勤務するTさんからは、「太陽光も風力も素材は海外のもので、それでいいのかという疑問もある」という意見、証券会社に勤めるYさんからは「ESG投資も進んでいるが、まだ日本では少ない」といった話や、官庁に務めるMさんからは「計画ばかり作られて、誰がそれを担うのか心配」など、環境・脱炭素がらみの話も多くありました。一方働き方や男女平等も話題になりましたが、職場によっても働き方はかなり違うようですし、20代後半から40代前半の彼らとその上の年代では様々な壁がまだまだあるようでした。それでも彼らが社会の主役になる頃にはきっと日本も変わるだろうという期待も持てる話もありました。「今後はテーマを決めて話そう」「やはり直接会いたい」「ほかの人にも連絡してみよう」という話で初回は終わりましたが、青春の一時期、環境文明21に関わった彼らの中には、何かしら通じあうものがあったようです。今回参加できなかった方も、次回は是非ご参加ください。（藤村コノエ）